

「一般社団法人 ALiS」設立事前準備団体

team



©

Team-ALiS Presents
みんなの伝えたい気持ち

2021.06

No 3



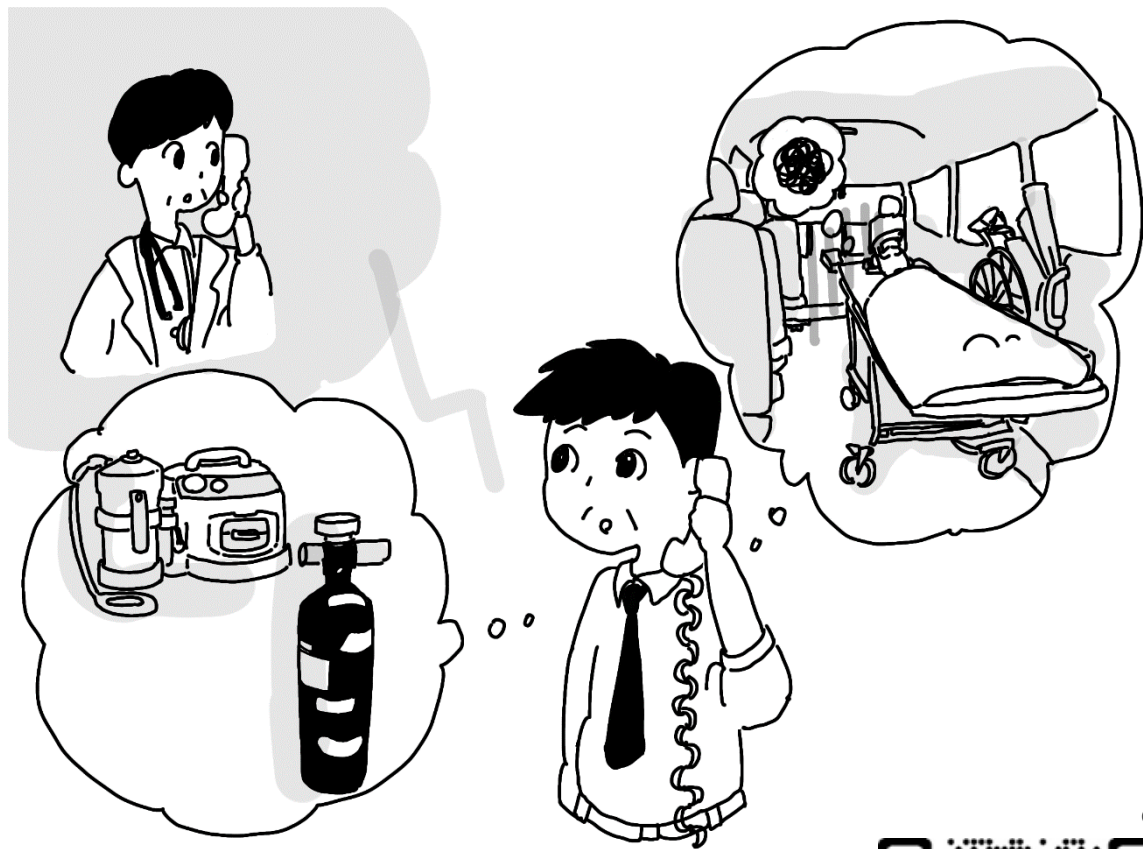
5 時間半の長距離患者搬送 ～安堵の微笑みと涙～

日本福祉タクシー協会*1 会員の体験

ある日、A 総合病院の医師から電話があった。

「急なことです、明日東京の病院へ患者さんの転院搬送をお願い
できませんか？」

医師によると、患者さんは 40 代女性。移動は安静を必要とするために、
看護師さんも添乗しての転院搬送依頼だった。



*1 日本福祉タクシー協会 WEB サイト



搬送当日、A 総合病院で医師と添乗する看護師さんと移動中の注意事項について打ち合わせを行いました。

注意事項

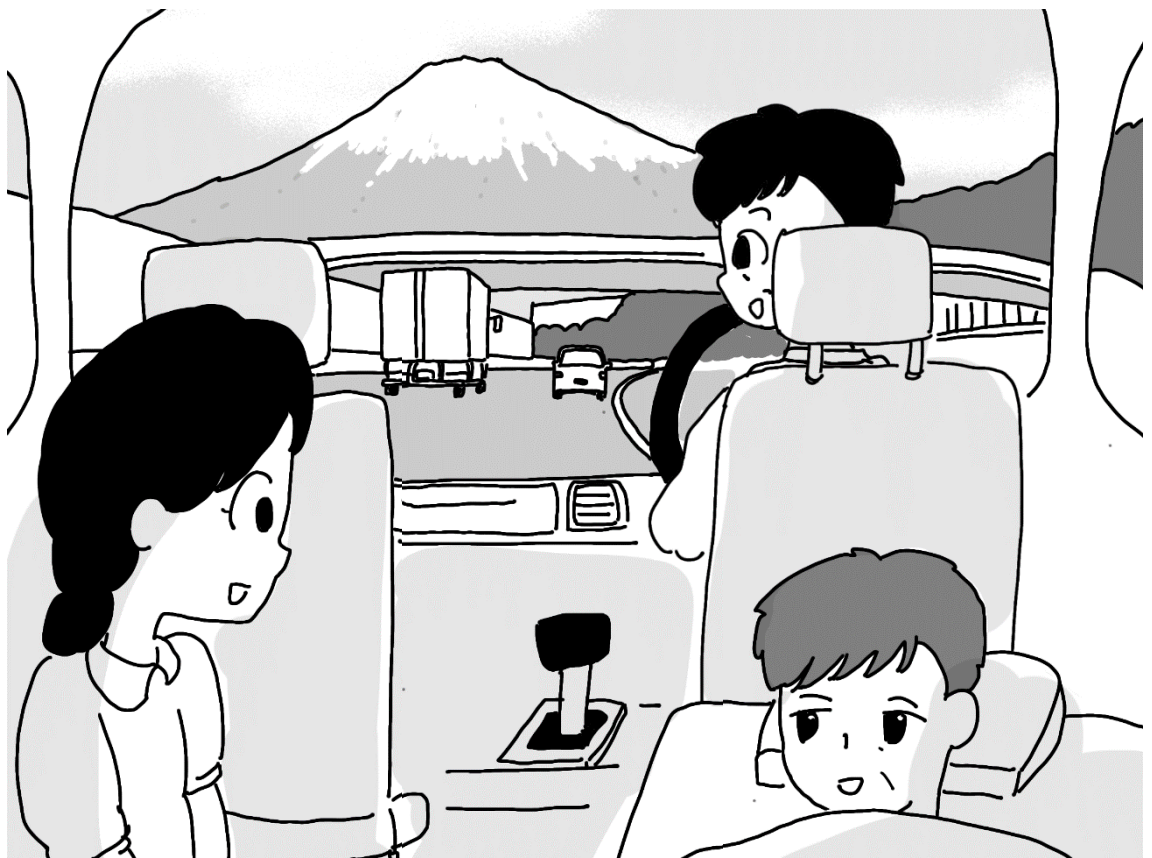
- ・車両は常に換気し、感染防護と消毒を徹底する
 - ・定時的にバイタルチェック*2を行う
 - ・こまめに休憩と水分補給、軽食をとる
 - ・決められた時間に服薬をする
 - ・トイレは、ストレッチャー乗降の負担を考え車内でオムツ交換する。など
- また、患者さんにも同じように移動中の注意事項について話をして出発をしました。



*2 バイタルチェック:「脈拍」「呼吸」「体温」「血圧」の4項目を測定することで身体情報を得ることができます。

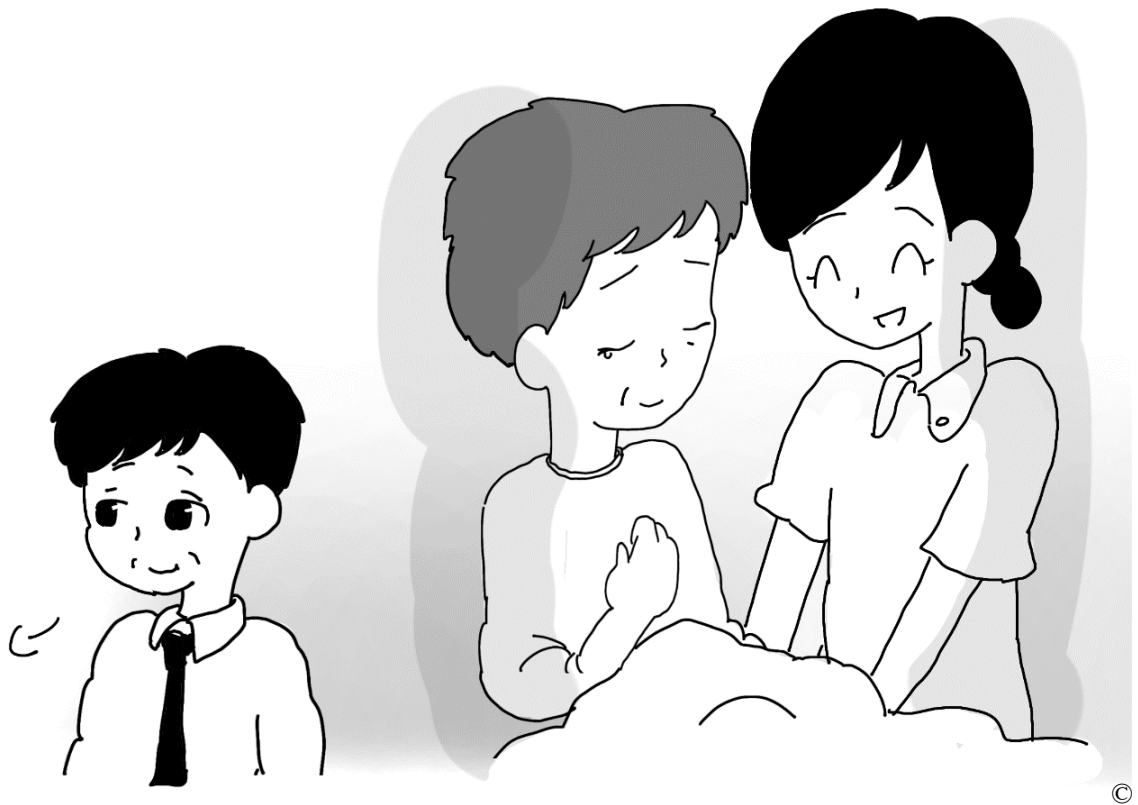
移動中は天気と交通状況がとてもよく、順調に車を走らせていました。
時折、後部座席から看護師さんと患者さんが話す声が聞こえました。
それによってかえって気持ちに余裕を持つことができ、運転に集中することができました。また、看護師さんは定期的に患者さんの背中をさすって移動中の負担を軽減させていました。

車を走らせていると富士山が見えたので「富士山きれいですよ。そこから見えますか？」と患者さんに告げると、コクリとうなずいたように感じました。しかし心の中では「やっとここまで来た。でも、まだこれからが本番！」と、車内のみんなも同じことを考えていたに違いないと思います。私はより一層、全集中で運転に専念することにしました。



都内に入ると幾度となく渋滞に遭遇したので、進路を変更して搬送先の病院着くことができました。さすがに長距離搬送です。患者さんの顔にも疲労感がありました。搬送先担当医に移動中の患者さんの様子を申し送り、患者さんの早い回復を願い病院を後にしました。

私は、5時間半一緒に頑張ってくれた患者さんが見せた、安堵の表情と微笑みと一筋の涙に、「この仕事をやって良かった」という達成感でいっぱいになりました。そして、狭い車内で患者さんに寄り添って様子を見てくれた看護師さんありがとうございました。



法人設立後に福祉タクシー運用を考えて準備を進めています。
ご支援と応援を広くお願いします。

共同企画 文中 イラスト 新井芙季
ブログ「雨やどりをしよう。」



一般社団法人 ALiS の 活動構想案



■活動方針案

◎一般社団法人 ALiS が考えている活動内容は多岐にわたるため活動は段階的に行っていきます。

①伝える

- ・心臓マッサージ+AED 講習会
- ・医療職向け ALiS 勉強会(WEB 配信:ただいま試行配信中)
- ・救命や災害活動の講習や講話・体験談や経験談の提供、開催提案と協力
- ・体験談、経験談、夢や目標を伝える冊子を毎月発行

②支える

- ・福祉タクシー・民間救急車による患者搬送・通院支援
- ・医療者支援、災害時支援
- ・各種マニュアル作成等支援
- ・各種研修会の開催と支援
- ・スポーツイベント、大型イベントへの医療支援

③伺う

- ・診療看護師による訪問診療事業
 - ・施設・病院等への様々な管理訪問
- など





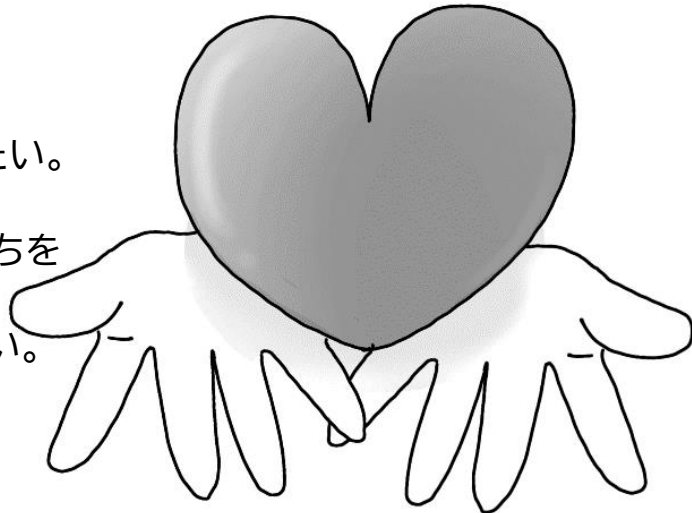
私の成し遂げたい夢



Team-ALiS 代表 新井

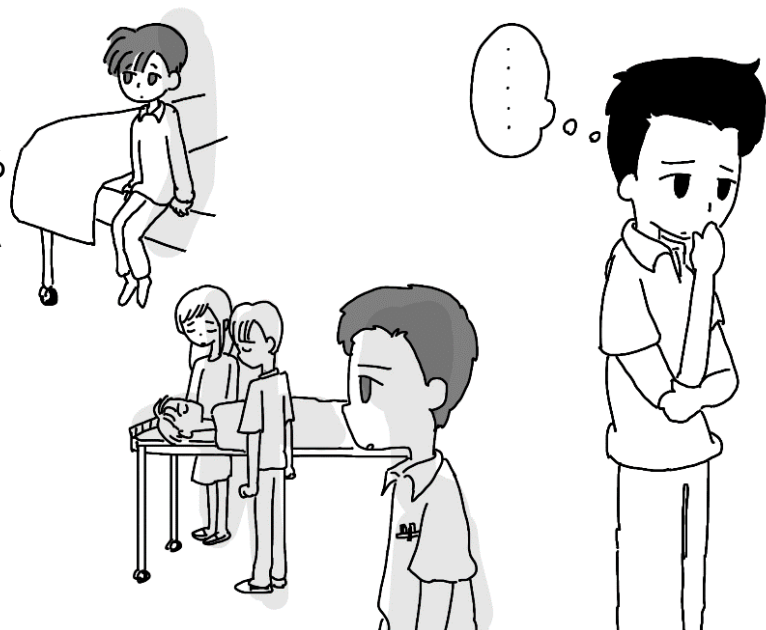
私の夢は、「いのちを救う行動が当たり前ができる世の中」にすること。
そのために、「誰でも一人から学べる心臓マッサージと AED 講習会のシステム」を作ります。

多くの「いのち」を救いたい。
一人でも多くの方に「いのちを
救う力」を身につけてほしい。



私は、幼いころ入退院を繰り返ほど体が弱く何回もいのちを助けて
頂いた、この経験からメディカルスタッフとして、大学病院働で約 20 年
勤めてきました。そして、救急の現場に近い部署で働いていた私は、
「救えたはずのいのち」を幾度となく経験し、その中で悲しみに暮れる
家族や仲間を観てきました。「救えていたのなら、その人の人生はどう
だったのだろう？」

「今後、家族はどうなる
のだろう」「救えたはず
なのに、悲しすぎる」
という感情を抱くよう
になりました。

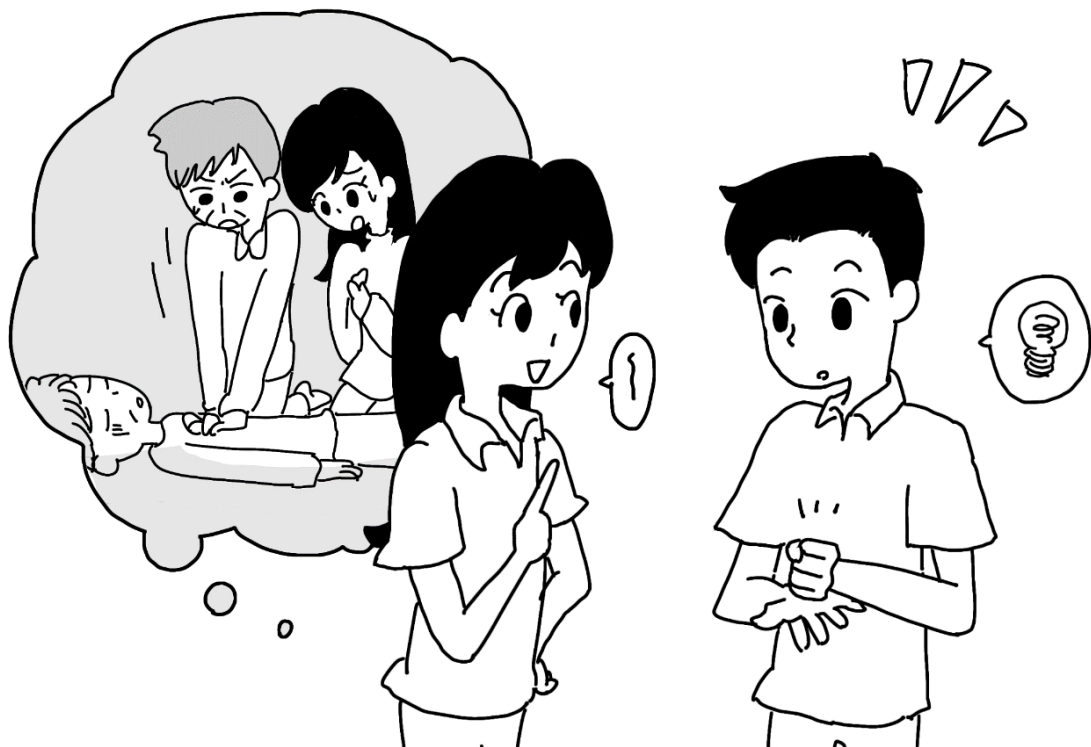


そして、「病院に来る前に救えたはず」と強く思った私は、心臓マッサージのインストラクターを取得して、病院スタッフ向け講習会にインストラクターとして参加してきました。

ある日の晩、緊急で病院に呼ばれた私に後輩が駆け寄ってきて

「今、救急搬送されたのは私の母です。先日新井さんに習った心臓マッサージをしました。とても怖かった、手が震えたけれど父と交代でやりました。」と、涙ながらに伝えてくれました。

幸い、同僚のお母さんは後遺症もなく社会復帰をされています。

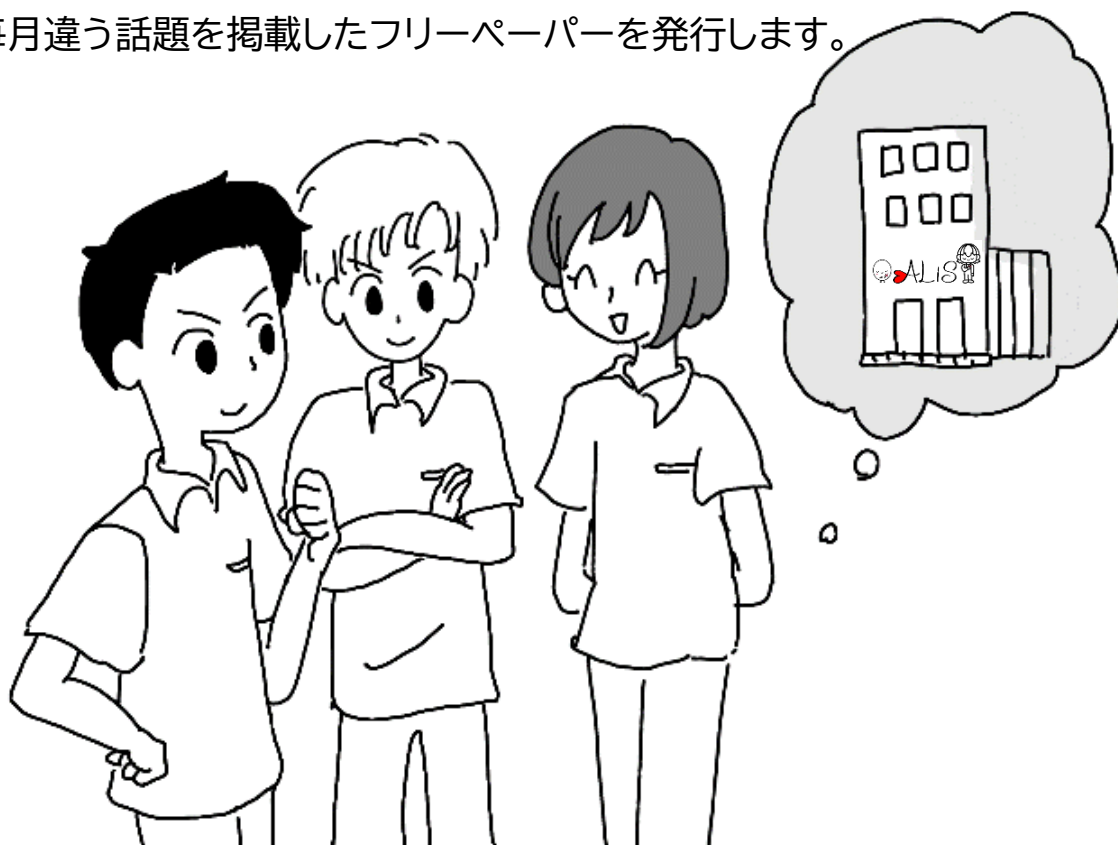


病院スタッフ向けの講習会で満足していた私はそこで気づいたのです。病院外の方にも講習会を行わないと「救えるはずのいのち」は減らないのではないか？心臓マッサージとAEDの必要性をもっと伝えないといけない！そう強く感じ、講習会を幅広くもっと積極的に開催しようと思いました。

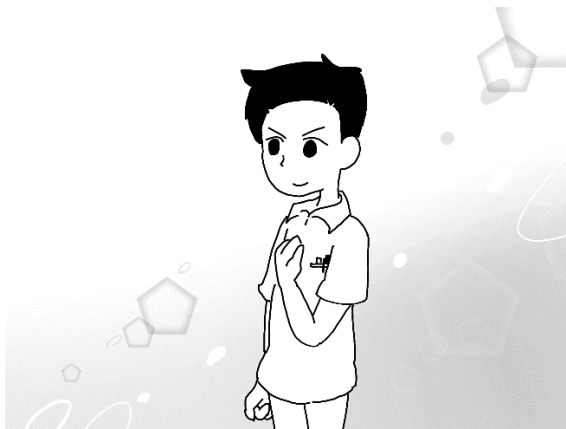
しかし、消防署や赤十字社などが講習会を開催している中で、私が行う講習会を 受けてくれるのか？講習会に必要性をどのくらい持っているのだろうか？そもそも、どの様に講習会を開催したら、興味をもって受けてくれるのか？他に比べて ？
料金のかかる講習会に理解を示してもらえるのか？と言う、課題意識を持つようになりました。



そのために、同じ志を持った仲間と共に、一般社団法人 ALiS を設立します。ALiSとは「オールアラウンド・ライフ・サポーター」すべてのいのちに係る活動を目的とした法人です。この法人の活動の一つとして「心臓マッサージと AED 講習会」を開催します。いろいろな活動の中で、多くの方に講習会の必要性を伝えていきます。興味を持っていただくために、毎月違う話題を掲載したフリーペーパーを発行します。



小学生から大人まで、誰でも一人でも 家族や仲間でもどこでも
受けられる講習会システム開発します。もちろん感染対策を講じた安心
して学べる環境を提供します。短い時間で集中することで、より学習能力
が上がり体で覚える講習会を実現
します。このようにすることで、心臓
マッサージと AED に興味と必要性
を持ってもらえると考えています。



私の人生の軸は「いのちを救う力」
です。幼いころ何度もいのちを
救われました。そしてメディカル
スタッフとしてのいのちに係って

きました。病気になれば病院です。しかし病院に来る前に出来ることが
あります。大切な人、身近な人、目の前のいのち、私は誰よりも「いのちを
救う力」を伝えることができます。

多くの手に「いのちを救う力」を宿したい。
そして、この私の活動を通して
「一歩前に出て手を伸ばす」
きっかけになれば幸せです。





TeamALiS 【一般社団法人 ALiS 設立 事前準備団体】

下記の職種と資格保有者に法人設立に向けて応援を頂いています。

■大切な仲間

◎医師、看護師、診療看護師、救急救命士、臨床工学技士

診療放射線技師、など

◎医学会救急科専門医、日本集中治療学会専門医

心肺蘇生系インストラクター INARS 認定インストラクター

外傷系インストラクター、応急手当指導員

DMAT 隊員、JapanHeat(国際緊急救助隊)

上級心理カウンセラー、行動心理士、エンドオブライフケア援助士

呼吸治療認定士、など

◎協力体制

・日本福祉タクシー協会



・日本 AED 財団



・私たちの活動に興味を持たれた方、ご賛同とご支援いただける方
いましたら、是非ご一報いただきますようお願いします。

私たちが目指す「一般社団法人  ALiS」とは

「All around Life Supporter」

ひとりのいのち、みんなのいのちのために、活動する皆さんのサポーター

「いっしょに出て、手を伸ばす」

地域医療・救急医療・災害医療に

私たちは「伝える」・「支える」・「伺う」の

3 軸で多角的に活動を行い、皆様と一緒に医療の底上げと医療者の支援を行います



私たちは「日本 AED 財団」の活動を応援します

 **DECADE OF >>> ACTION**

ALiS のアンケートにご協力ください



Youtube

Facebook



Instagram

Twitter



「フォロー、チャンネル登録」と「いいね」をお願いします！！

Team-ALiS 代表 新井

メール: alissongben@gmail.com